



令和3年度 活動報告

新型コロナウイルス感染の収束が見通せず制約が続くなか、「今だからできること」「今やらなくてはいけないこと」を進めてきました。

プロジェクトテーマ ごとの活動状況

…令和元年度の生きもの会議で討議したテーマから抜粋

裏面で詳しくご紹介しています

みどりや生きものに関する情報共有

生物調査記録
(暫定版)の公開

昭和から断続的に行われてきた貴重な調査資料の一部を一元化し、試行的に公開しました。調査には、ボランティアの皆さんが実施されたものが多く含まれています。今後、貴重な調査資料の一元化を進めるとともに、公開内容をさらに精査し、皆さんの活動や、広く一般の方の調査、学習などに活用できるよう改善していきます。

生きもの会議 メンバーの活動

調査
助言
写真提供

ノウハウを広げる/ネットワークを広げる

勉強会
横の連携

希少な春植物であるイチリンソウを保全するため、専門家を招いた勉強会や現地調査を経て、リスク分散のための移植作業を行いました。団体同士の協働や地域町会との連携など、人的ネットワークも重要なキーワードになりました。

講師
調査
協働

広報手段

情報発信

生きもの会議のWebページに、各団体の紹介や活動紹介を掲載しています。

生物多様性アドバイザーの方からは、公園で見つけた昆虫の生態に関する記事をfacebookに投稿をいただきました。随時記事を募集していますので、ぜひご活用ください。

情報提供
寄稿
運用

<https://ikimonokaigi.tokyo/>



せたがや生きもの会議

検索

学校との連携

小学校出前講座

次代を担う子どもたちに、みどりの恵みや生きもの大切さを伝える体験型の講座です。コロナ渦で屋外での観察講座は実施できませんでしたが、「絵日記でいざなう世田谷のみどり(初夏編・秋編)」を公開しました。不思議な季節の変化に目を向け、その豊かさを感じてほしい、そんな思いで作成した資料です。



講師
作成

↑ こちらから

小学校出前講座

生きもの会議のメンバーが作成したオリジナルのガイドをWebページで公開。身近な場所で生きものを探さきっかけになるよう、公園や緑道、水辺など、環境ごとに季節の生きものを紹介しています。



▲初夏編 (表紙)

秋 緑道、道ばたなど 講師: 今田裕美子

緑道の桜の木
緑道のサクラの葉は、別のサクラの幹(みき)では、ツアリのなまが

秋 公園・緑地 講師: 山崎裕志

私の公園や緑地では成長したバッタやカマキリ、花畑に集まるチョウやハチなどを見ることがあります。

秋 河川や水辺 講師: 伊藤晴康

一ある日「わたしの木」のまわりで出会った生きものたちを紹介しようかします。

木を眺めてみると
エゾキの真ん中あたりから、キツネツキッと低い音が聞こえます。これは、エゾキの葉を食べているアゲハの幼虫が鳴いている音です。

2?ヌギの木
メダカも少しづつ産卵してきました。のりを食うと立派なドングリが出来ています。

ハイイロオウゴンリ
このハイイロオウゴンリは、ハイイロオウゴンリ(オウゴンリ)の幼虫です。

多摩川の河川にある「わたしの木」エゾキとその周りの草の数を紹介します。

▲秋編

Webページを活用した情報発信

生きもの会議のWebページ(ホームページ、facebook)を活用して、活動紹介、団体紹介などの情報共有を進めています。今年度の掲載内容を一部ご紹介します。詳しくはWebページをご覧ください。

せたがや生きもの会議



▲「三宿の森を育てる会」
団体紹介を掲載



▲「せたがや自然環境保全の会」

大蔵三丁目公園に自生するイチリンソウ。樹林地の高木化による日照不足の影響などで、減少傾向にあります。消滅回避に向け、専門家を招いての勉強会を経て、地域の町会などと協働で移植作業を実施しました。



▲ 生物多様性アドバイザー
山崎裕志さん

生物調査の様子を生きもの会議のfacebookに投稿

生物調査記録の公開

ボランティアの皆さんが長年にわたり調査されたものなど、区内各所でこれまでに調査された生物の記録を、区のホームページで暫定的に公開しました。今回公開した資料はほんの一部です。今後も順次資料をとりまとめ、詳細な記録の公開方法や、希少種の取り扱いなどを検討し、区内の生物図鑑としての活用を目指します。調査記録や写真の提供、調査記録の継続的な整理など、ぜひご協力をお願いします。

No.	目	科	種	学校	調査年	調査場所					調査者	
						1	2	3	4	5		
1	イロハシロ	科	種	学校	2010							
2	コトブネ	科	種	学校	2010							
3	コトブネ	科	種	学校	2010							
4	コトブネ	科	種	学校	2010							
5	コトブネ	科	種	学校	2010							
6	コトブネ	科	種	学校	2010							
7	コトブネ	科	種	学校	2010							
8	コトブネ	科	種	学校	2010							
9	コトブネ	科	種	学校	2010							
10	コトブネ	科	種	学校	2010							
11	コトブネ	科	種	学校	2010							
12	コトブネ	科	種	学校	2010							
13	コトブネ	科	種	学校	2010							
14	コトブネ	科	種	学校	2010							
15	コトブネ	科	種	学校	2010							
16	コトブネ	科	種	学校	2010							
17	コトブネ	科	種	学校	2010							
18	コトブネ	科	種	学校	2010							
19	コトブネ	科	種	学校	2010							
20	コトブネ	科	種	学校	2010							
21	コトブネ	科	種	学校	2010							
22	コトブネ	科	種	学校	2010							
23	コトブネ	科	種	学校	2010							
24	コトブネ	科	種	学校	2010							
25	コトブネ	科	種	学校	2010							
26	コトブネ	科	種	学校	2010							
27	コトブネ	科	種	学校	2010							
28	コトブネ	科	種	学校	2010							
29	コトブネ	科	種	学校	2010							
30	コトブネ	科	種	学校	2010							
31	コトブネ	科	種	学校	2010							
32	コトブネ	科	種	学校	2010							
33	コトブネ	科	種	学校	2010							

▲ 動植物の記録(暫定版)です。お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

情報発信、情報共有等の記事を募集

生きもの会議のWebページを公開中です。記事原稿をお寄せいただくか、facebookにはご自身で投稿いただくこともできます。ぜひご活用ください。

ホームページイメージ

せたがや生きもの会議
せたがや生きもの調査



ホーム せたがや生きもの会議とは 団体紹介 イベント紹介 助っ人募集



「世田谷生きもの会議」開催の経緯

「生きものつながる世田谷プラン」の策定にあたっては、生物多様性に配慮した活動をされている多くの方々からご意見をいただき、活動団体同士の連携や、知識・ノウハウの共有、現場のマンパワーなどが課題として挙げられました。こういったご意見を受け、皆さんの活動に役立てられる場として、「生きもの会議」を立ち上げました。